

【水環境改善】 バイオトップサンドの用法・用量

バイオトップサンド粉末顆粒は広範に亘り大きくマイナス電位を有していますので、自然環境下のみならず酷い嫌気性環境下においても、マイナス電荷の吸着力と活性増加する好気性菌などの働きにより、嫌気性環境を好気性環境に変えてくれます。

【水質改善】

汚れてしまった水域を修復し健全な水環境が形成されます。

（散布工法）

バイオトップサンド粉末顆粒を、適宜な量を水面に撒くだけです。

（効果）

バイオトップサンドの特性である大きなマイナスゼータ電位を有していますので、多くのマイナス電荷の働きで、水中の有機物などの汚濁要因を吸着しながら水底に着床するので、撒くだけで水質改善と底質改善がなされます。

（用量）

水量に対して約 0.05%～0.1%の量が用量目安です。

（水量 100 ℓ に対して 50ml～100ml、水量 1,000 ℓ に対して 500ml～1 ℓ）

【ヘドロ対策および底質改善】

（覆砂工法）

覆砂厚わずか 1.5mm 量のバイオトップサンド粉末顆粒を水面に撒くだけで、水底に堆積しているヘドロを、懸濁することなく覆う事ができます。

（効果）

- ・ヘドロをわずか約 1.5mm 厚のバイオトップサンドで覆うことで、まずは底質が活性化することでの改善と、同時にヘドロからの水質汚濁要因が水中に拡散するのを防ぐことで水質が安定します。
- ・覆ったヘドロのうち有機物分は活性化した好気性常在菌により分解がなされ、底質改善が促進します。

（用量）

覆砂面積 100 平方メートルに対してバイオトップサンド粉末顆粒 150 ℓ が用量目安です。

水産養殖場 畜産業

水質安定、水質保全、臭気低減、硫化水素発生の抑制及び低減など

池、湖沼

アオコ、植物プランクトンの多い池、湖沼や富栄養化された池、湖沼など

干潟

臭気低減要望箇所、生物多様性増進など

中小河川

窒素、リンや植物プランクトンの多い中小河川など

装置と組み合わせた工法

河川、池、湖沼の浄化し難い箇所など